



2013年3月期

第2四半期 決算説明会

SMK株式会社

2012年10月29日



FY2012 2Q決算の概況

常務執行役員

大垣 幸平

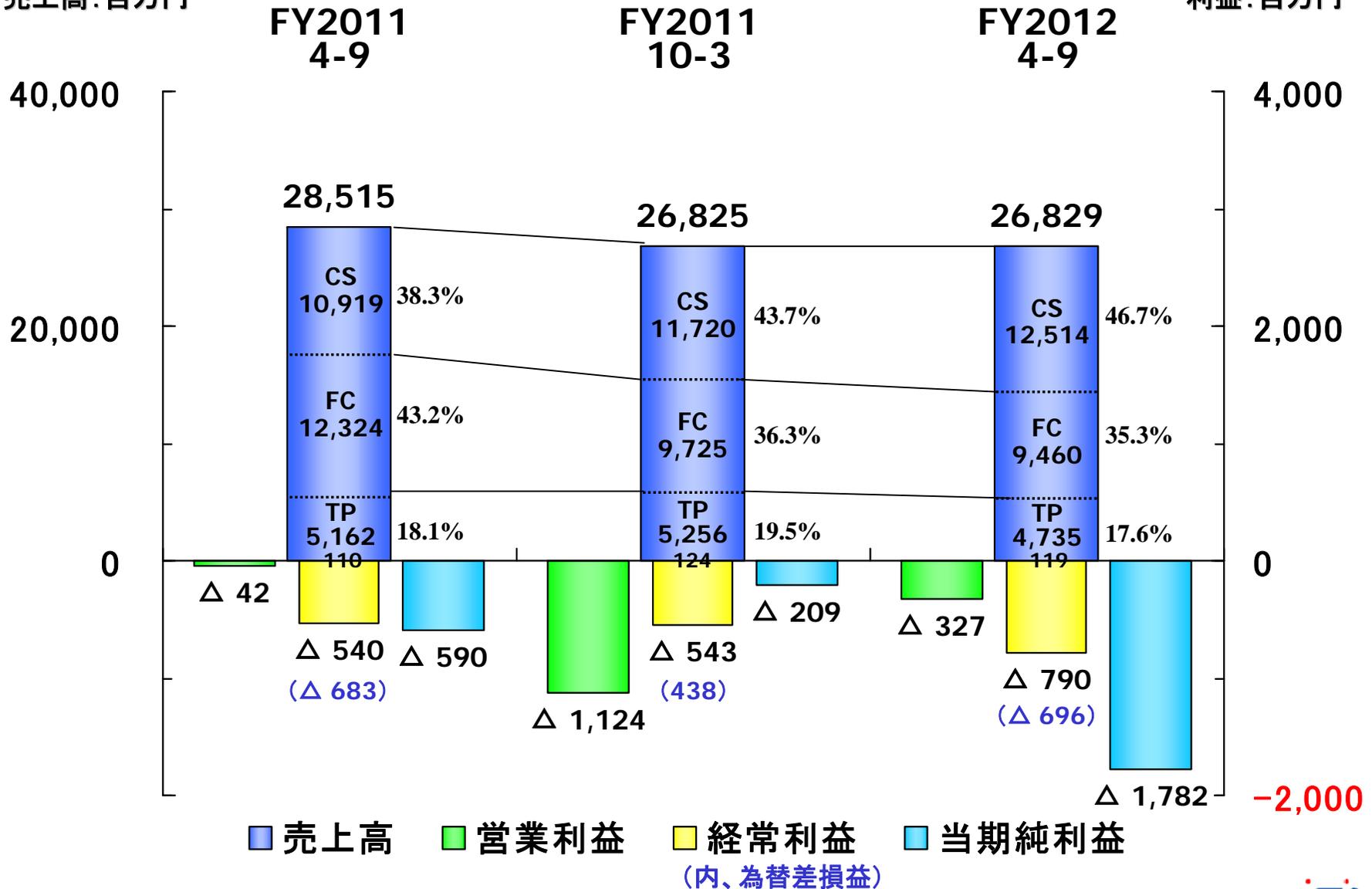


<連結>FY2012業績

3/25

売上高:百万円

利益:百万円



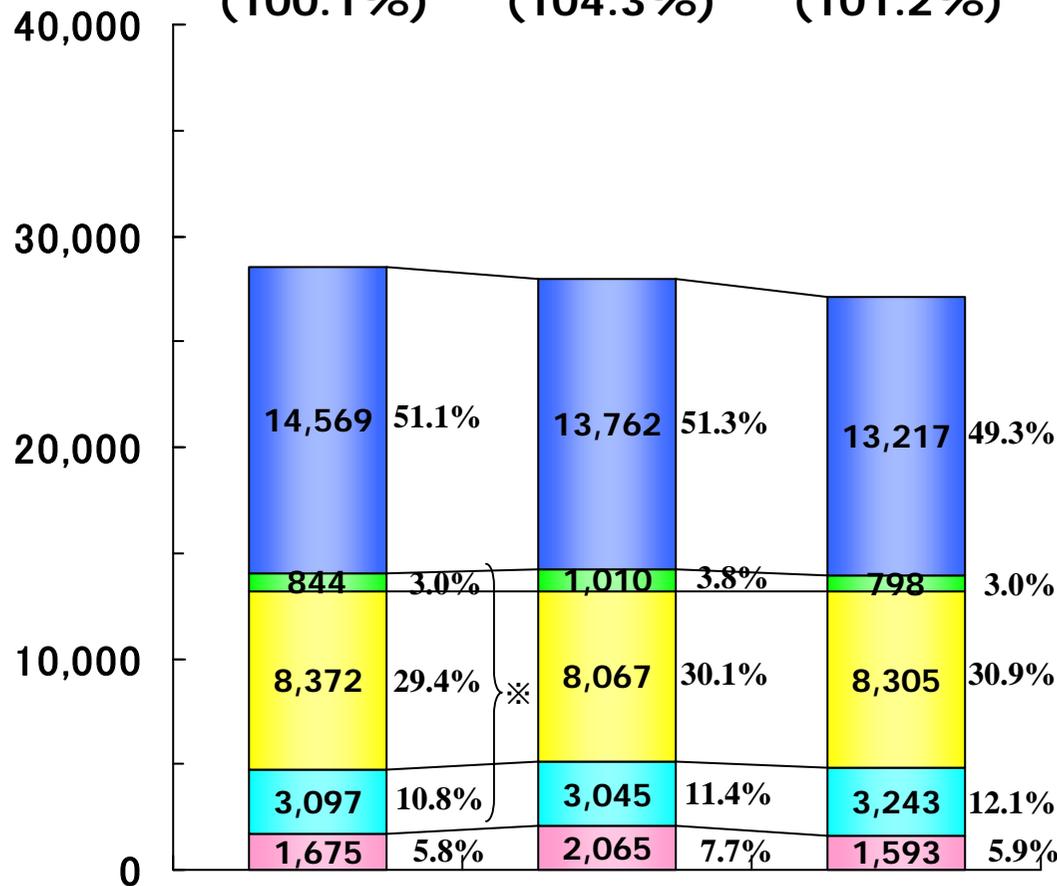


<連結>営業費用

(単位:百万円)

FY2011 4-9	FY2011 10-3	FY2012 4-9
28,557	27,949	27,156
(100.1%)	(104.3%)	(101.2%)

():売上比



- 材料費
- 外注加工費
- 労務費
- 経費
- 減価償却費

➤ (材料費+外注加工費)率改善

➤ 労務費・経費増加

①増産対応

②技術展(TEXPO2012)の開催

※中国工場独資化の影響を調整済
(外注加工費⇔労務費・経費)

営業利益

△42	△1,124	△327
(△0.1%)	(△4.3%)	(△1.2%)

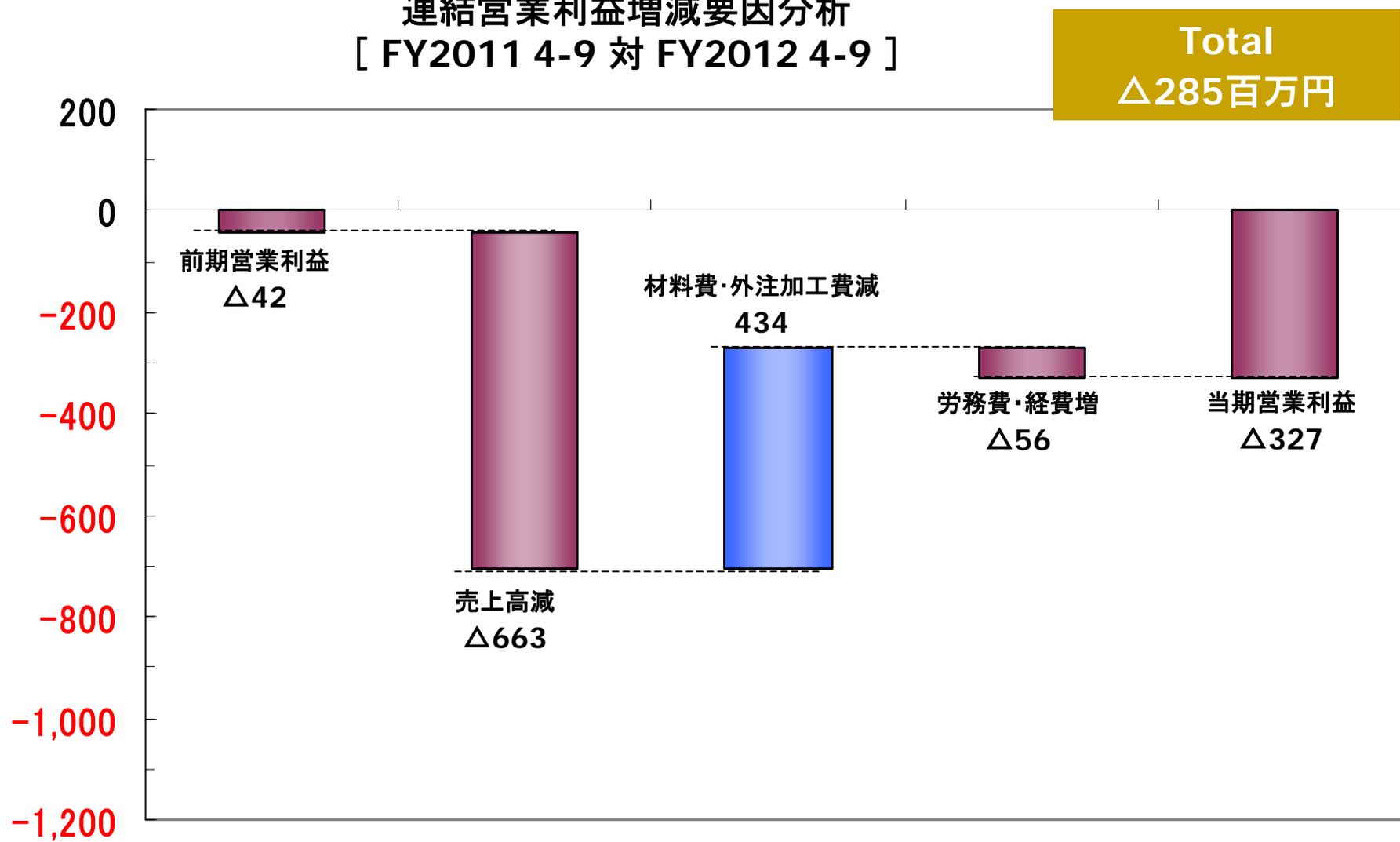


<連結> 営業費用分析①

5/25

(単位:百万円)

連結営業利益増減要因分析 [FY2011 4-9 対 FY2012 4-9]



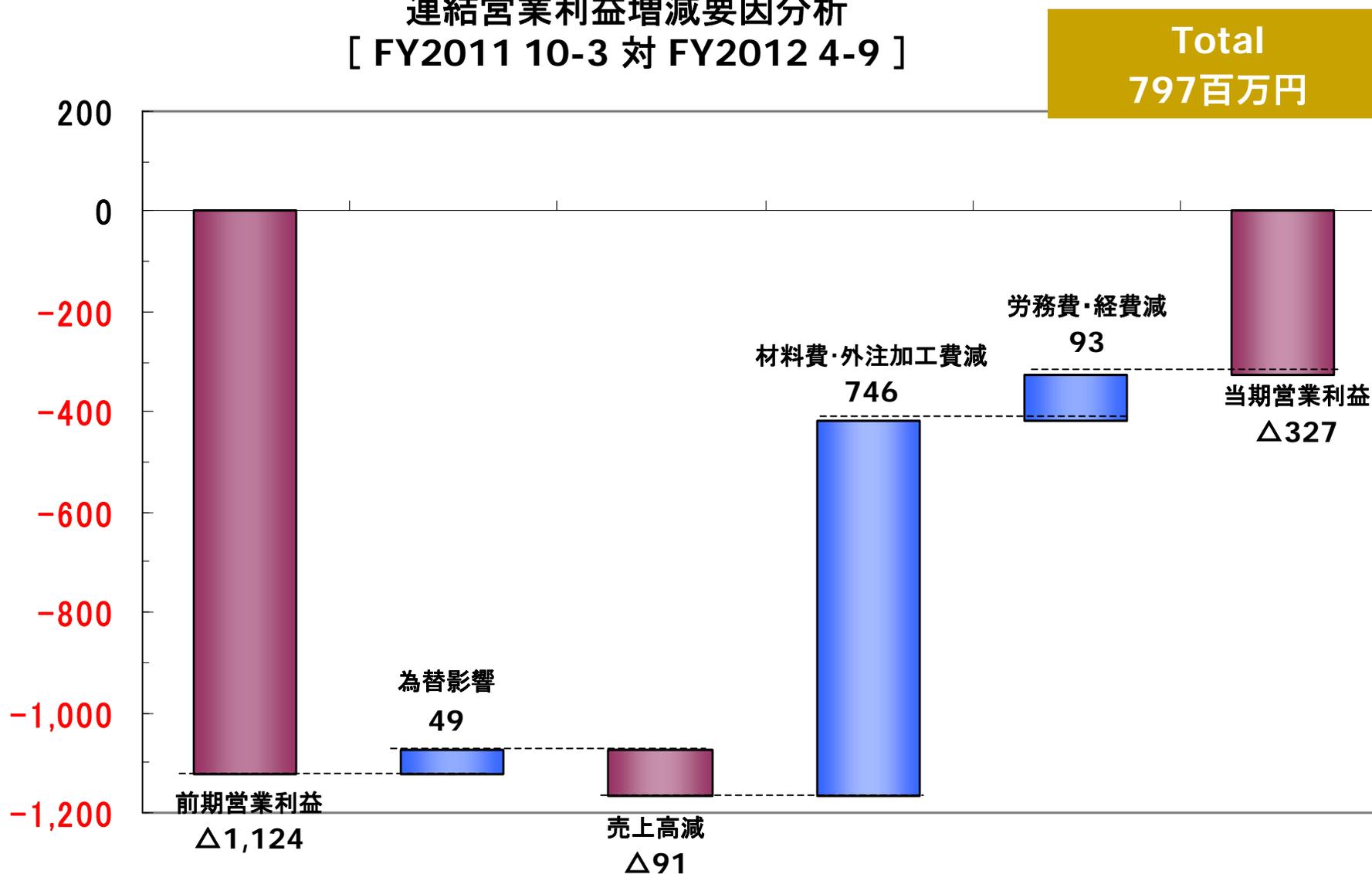


<連結>營業費用分析②

6/25

(單位:百萬元)

連結營業利益增減要因分析 [FY2011 10-3 對 FY2012 4-9]





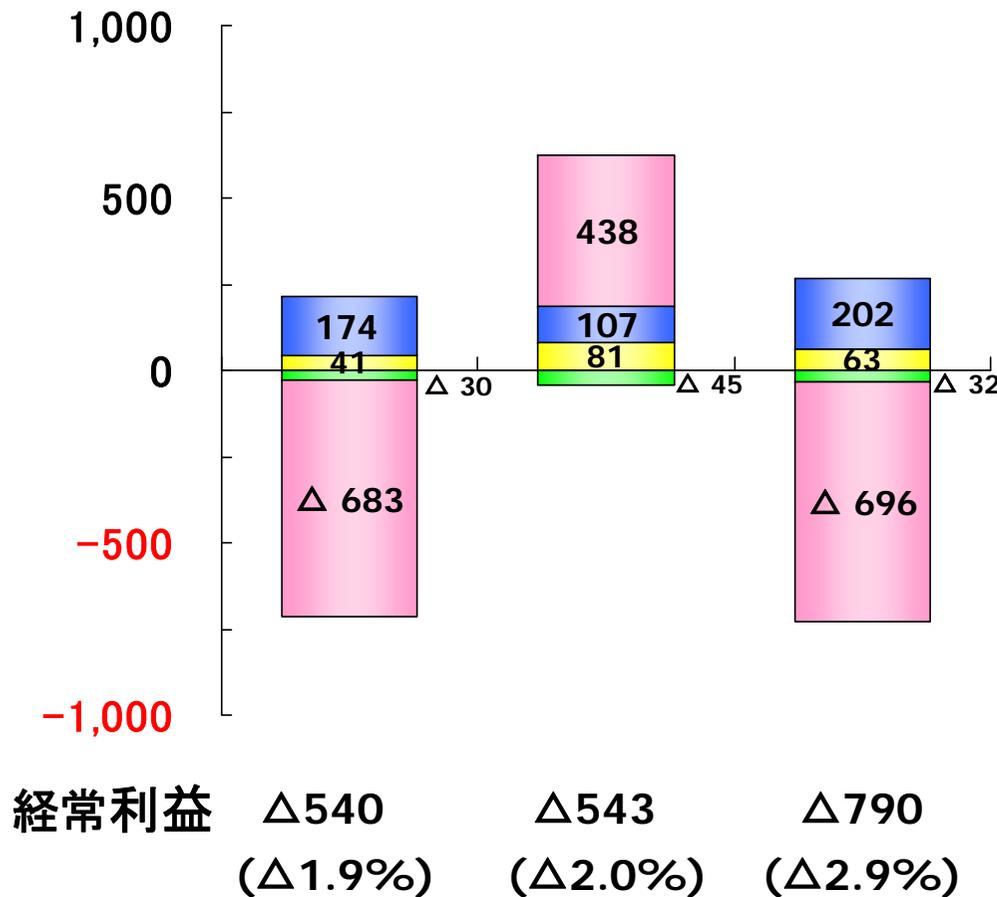
<連結>営業外損益

7/25

FY2011 4-9	FY2011 10-3	FY2012 4-9
△498	581	△463
(△1.8%)	(2.1%)	(△1.7%)

(単位:百万円)

():売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

➤ 為替差損の増加

期末レート差

FY2011 4-9 6.50円/\$の円高

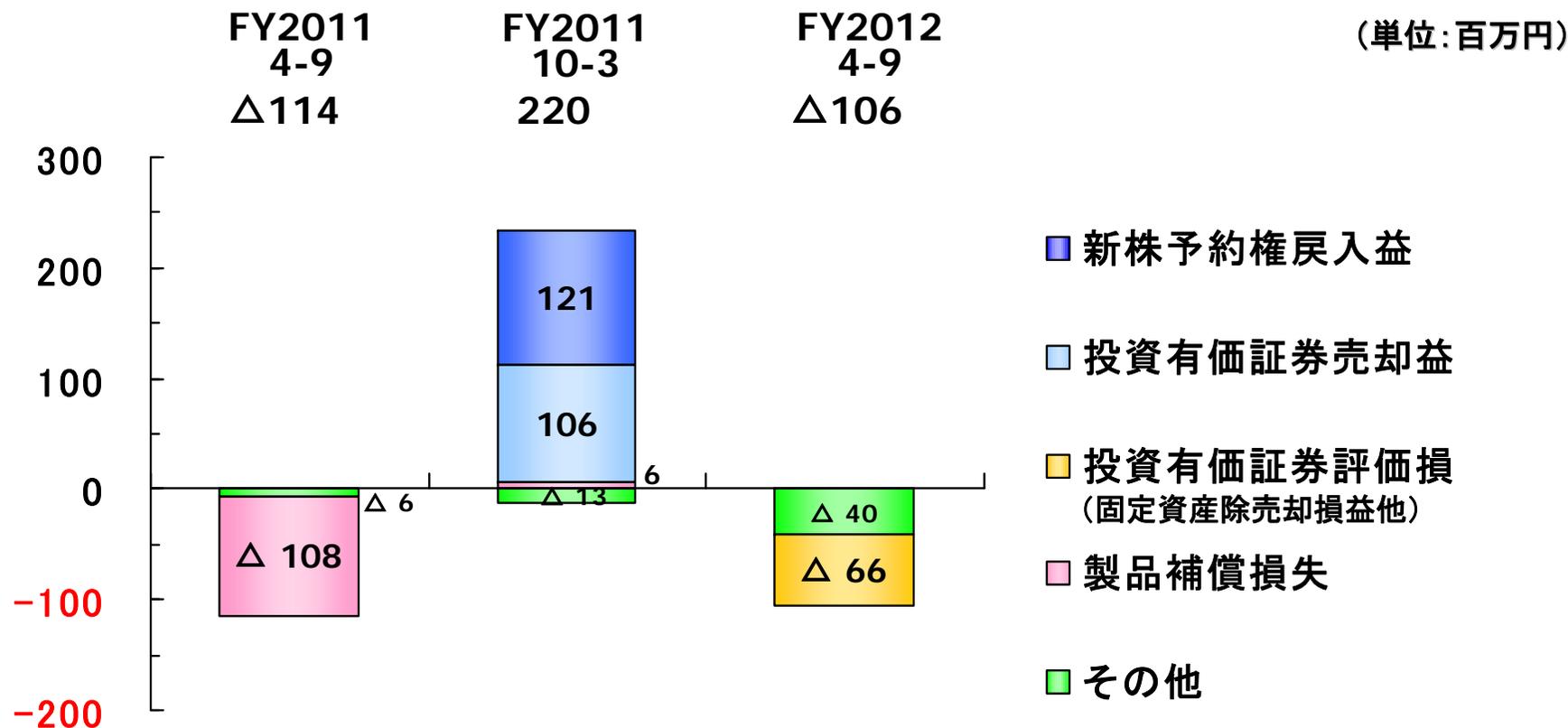
FY2011 10-3 5.54円/\$の円安

FY2012 4-9 4.59円/\$の円高



<連結>特別損益

8/25



税引前利益	△654	△323	△896
税金等(含税効果処理)	64	114	△886
当期純利益	△590	△209	△1,782
	(△2.1%)	(△0.8%)	(△6.6%)

():売上比



<連結>財政状態

9/25

(単位:百万円)

	2012/3 (A)	2012/9 (B)	増減 (B-A)
資産	53,883	50,627	△3,256
現預金	8,472	7,960	△512
受取手形及び売掛金	15,223	14,158	△1,065
棚卸資産	5,472	5,714	242
固定資産	20,397	19,067	△1,330
負債	25,626	25,470	△156
買掛金及び未払金	10,800	9,609	△1,191
有利子負債	12,157	13,333	1,176
純資産	28,257	25,157	△3,100
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	52.4%	49.6%	△2.8%



＜連結＞キャッシュ・フローの状況

10/25

(単位:百万円)

	FY2011 4-9	FY2011 10-3	FY2012 4-9
営業キャッシュフロー	162	1,839	871
運転資金	△980	550	△153
税引前利益	△654	△323	△896
減価償却費	1,635	2,029	1,561
その他	161	△417	359
投資キャッシュフロー	△1,887	△1,877	△1,859
フリーキャッシュフロー	△1,725	△38	△988
財務キャッシュフロー	1,137	1,549	650
有利子負債の増減額	1,502	1,733	1,221
自己株式の増減額	△75	△184	△142
配当金の支払金額	△290	—	△429
現金等期首残高	7,382	6,695	8,389
現金等期末残高	6,695	8,389	7,902



<連結>セグメント情報

11/25

FY2012 4-9

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	連結損益計算 書計上額
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	12,514	9,460	4,735	26,710	119	26,829
セグメント利益又は 損失(△)(営業損失)	383	△708	9	△317	△10	△327

FY2011 10-3

	報告セグメント				その他 (注)	連結損益計算 書計上額
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	11,720	9,725	5,256	26,701	124	26,825
セグメント利益又は 損失(△)(営業損失)	△226	△760	△119	△1,105	△19	△1,124

FY2011 4-9

	報告セグメント				その他 (注)	連結損益計算 書計上額
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	10,919	12,324	5,162	28,405	110	28,515
セグメント利益又は 損失(△)(営業損失)	△86	43	△35	△78	36	△42

(注)その他部品事業、リース、不動産賃貸、ファクタリング事業





<連結>業績推移(四半期別)

12/25

1. FY2012

(単位:百万円)

	上 期			下 期		通 期
	第1QTR (12/4~6) [実績]	第2QTR (12/7~9) [実績]	合 計 (12/4~9) [実績]	合 計 (12/10~13/3) [予想]		合 計 (12/4~13/3) [予想]
① 売上高	13,501	13,328	26,829	27,671		54,500 (60,000)
② 営業利益	△194	△133	△327	527		200 (1,000)
③ 経常利益	△474	△316	△790	1,090		300 (1,300)
④ 当期純利益	△435	△1,347	△1,782 (△1,049)	582		△1,200 (750)

2. FY2011

()繰延税金資産の取崩

()当初の連結業績予想

	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (11/4~6)	第2QTR (11/7~9)	合 計 (11/4~9)	第3QTR (11/10~12)	第4QTR (12/1~3)	合 計 (11/10~12/3)	合 計 (11/4~12/3)
① 売上高	14,111	14,404	28,515	13,104	13,721	26,825	55,340
② 営業利益	47	△89	△42	△506	△618	△1,124	△1,166
③ 経常利益	△106	△434	△540	△317	△226	△543	△1,083
④ 当期純利益	△161	△429	△590	△244	35	△209	△799

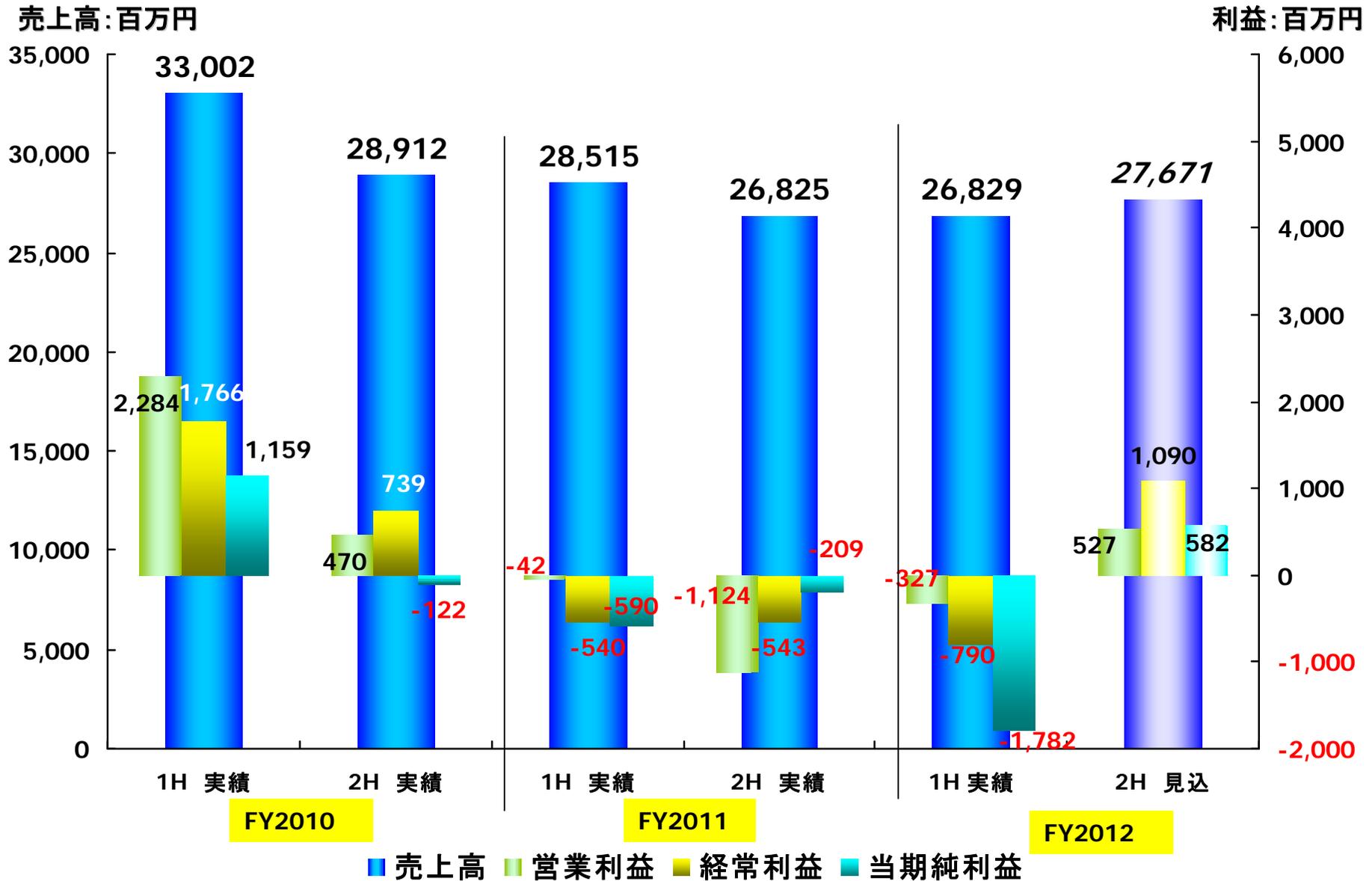


FY2012第2四半期の実績と見通し

代表取締役 社長 池田 靖光



半期別 売上高、利益推移(FY2010~FY2012)



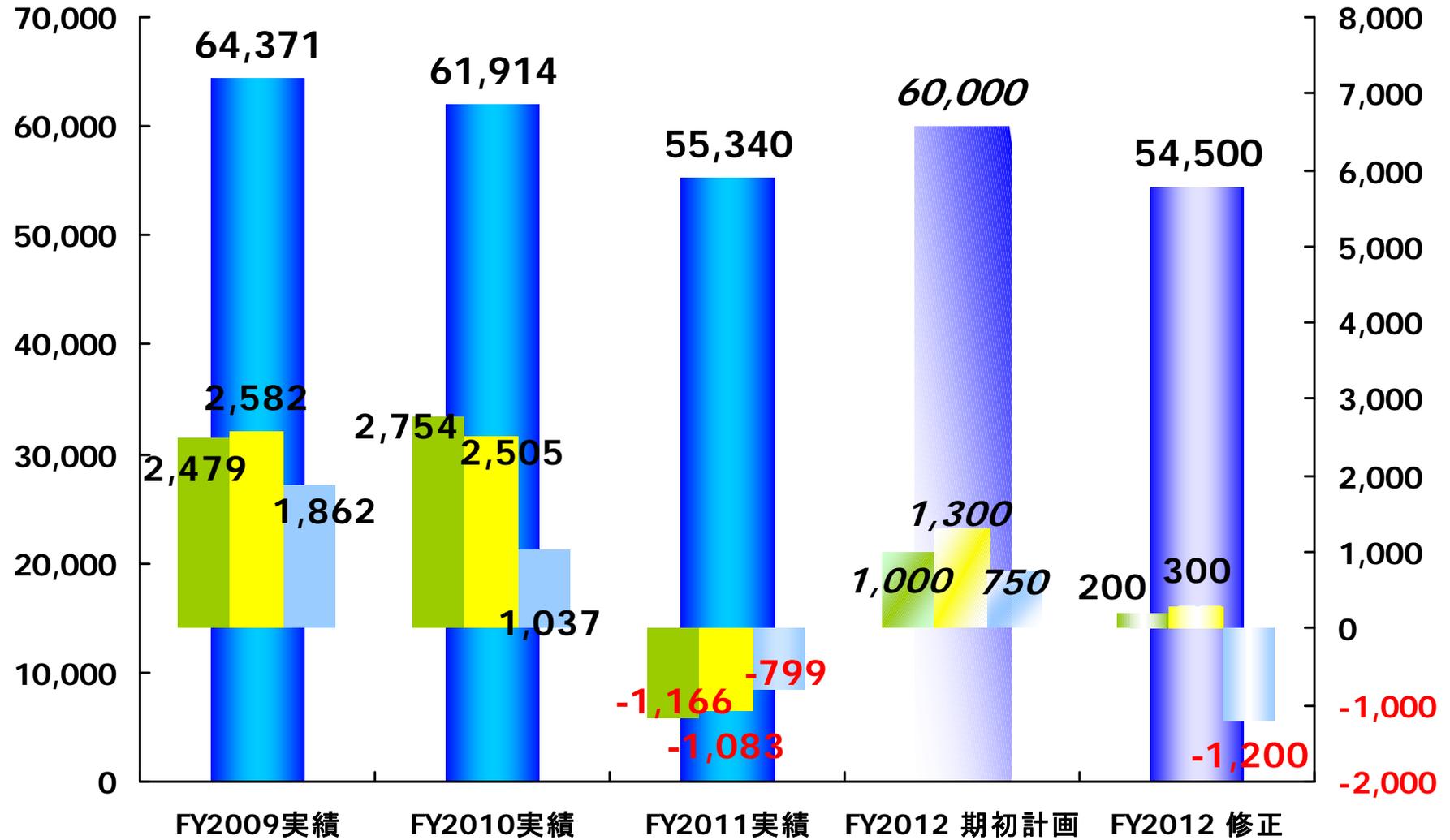


通期 売上高、利益推移(FY2009~FY2012)

15/25

売上高:百万円

利益:百万円



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益





売上高の推移

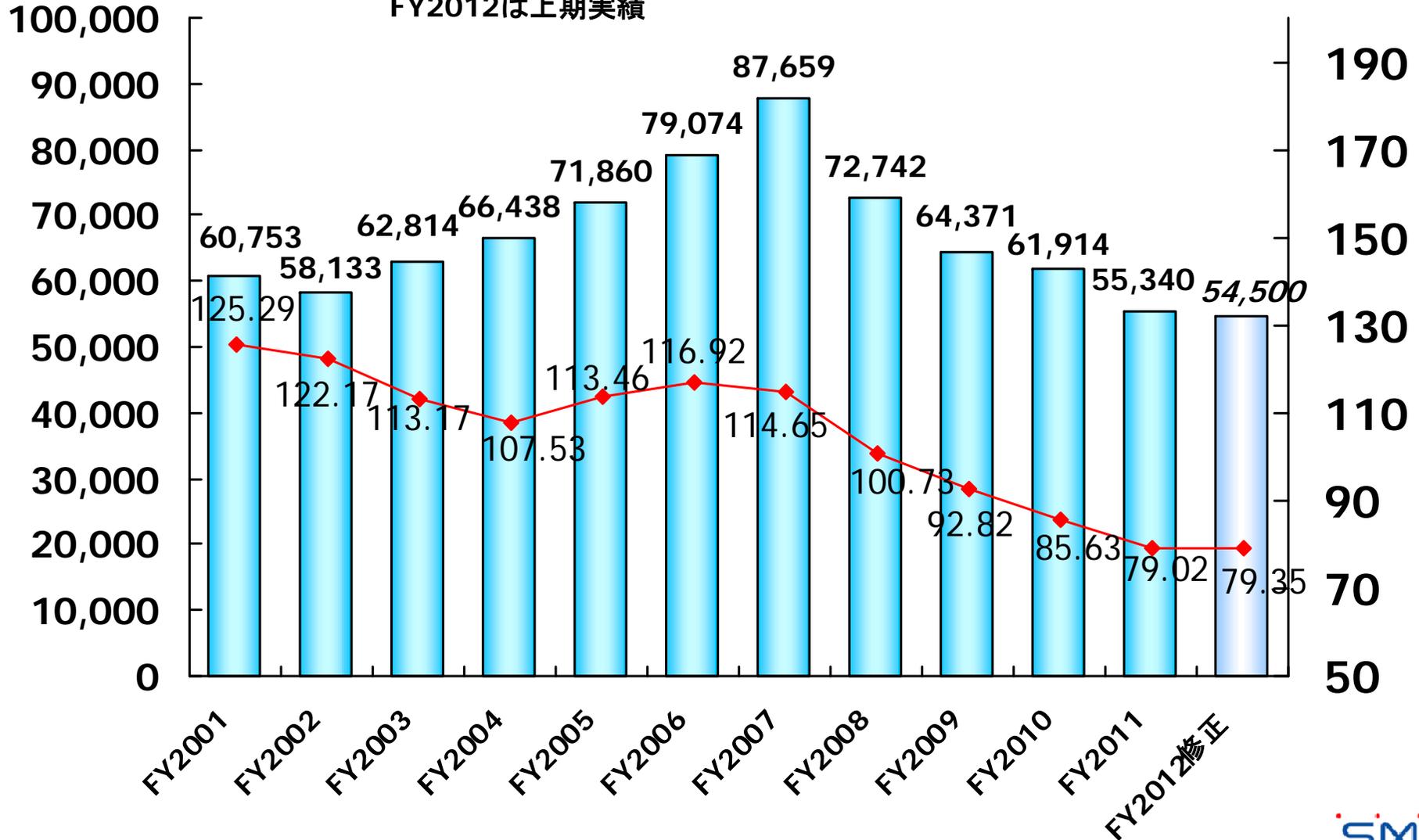
売上高:百万円

売上高

平均為替レート:対USドル(円)

為替レート(対USドル)

FY2012は上期実績



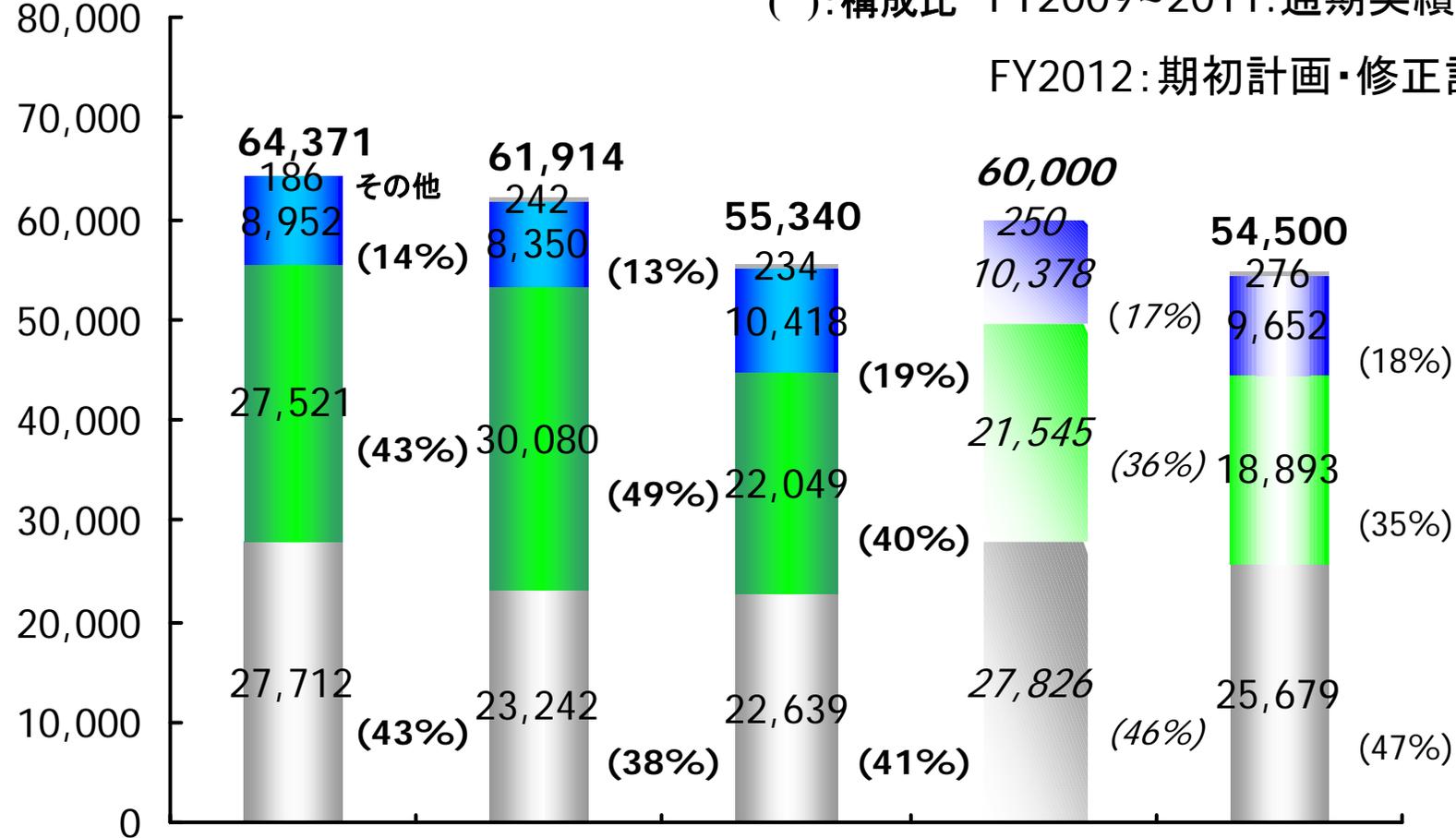


事業部別売上高(FY2009~FY2012)

売上高:百万円

():構成比 FY2009~2011:通期実績

FY2012:期初計画・修正計画



FY2009通期実績

FY2010通期実績

FY2011通期実績

FY2012期初計画

FY2012修正

CS

FC

TP



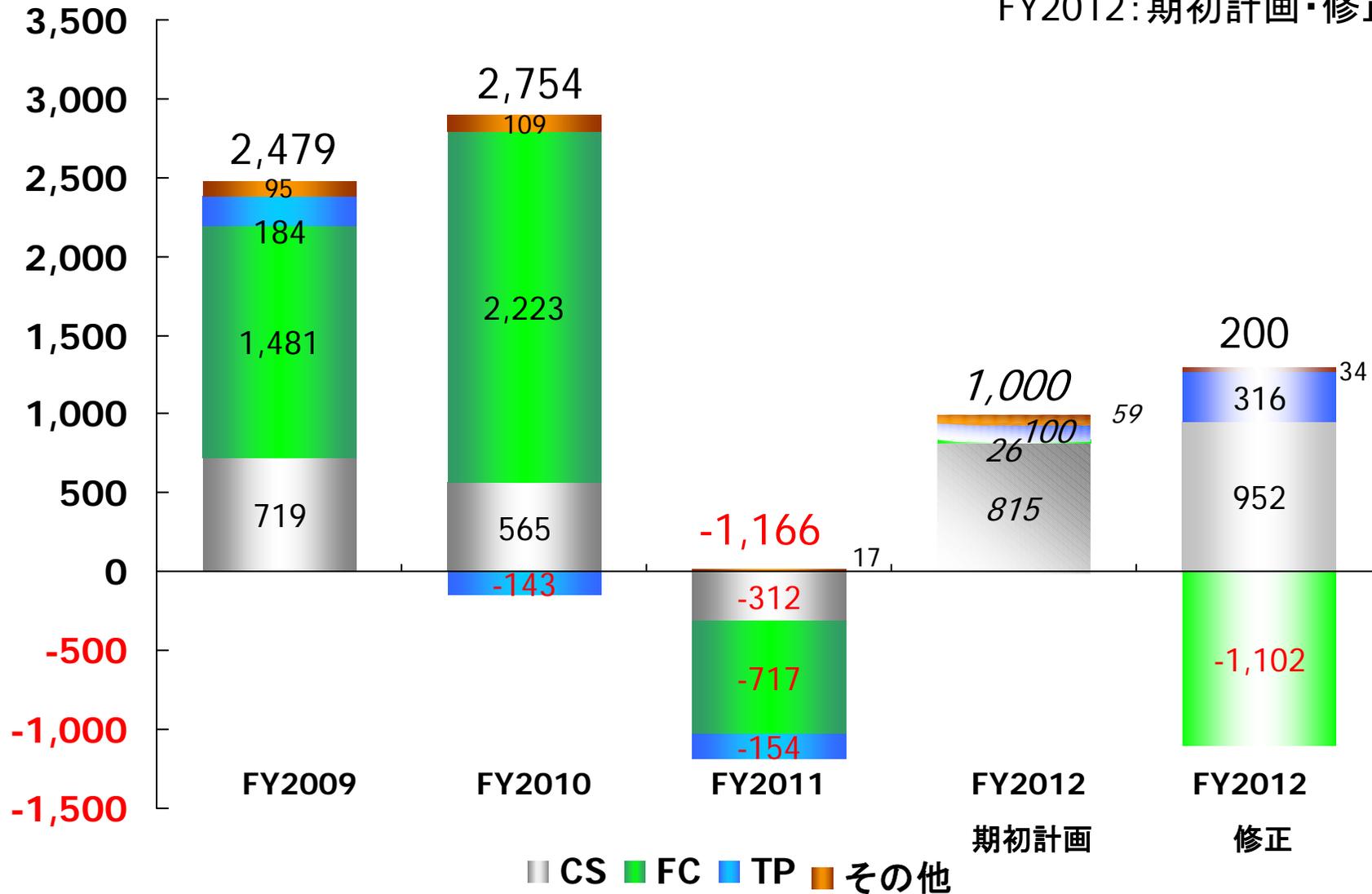
事業部別営業利益(FY2009~FY2012)

18/25

営業利益:百万円

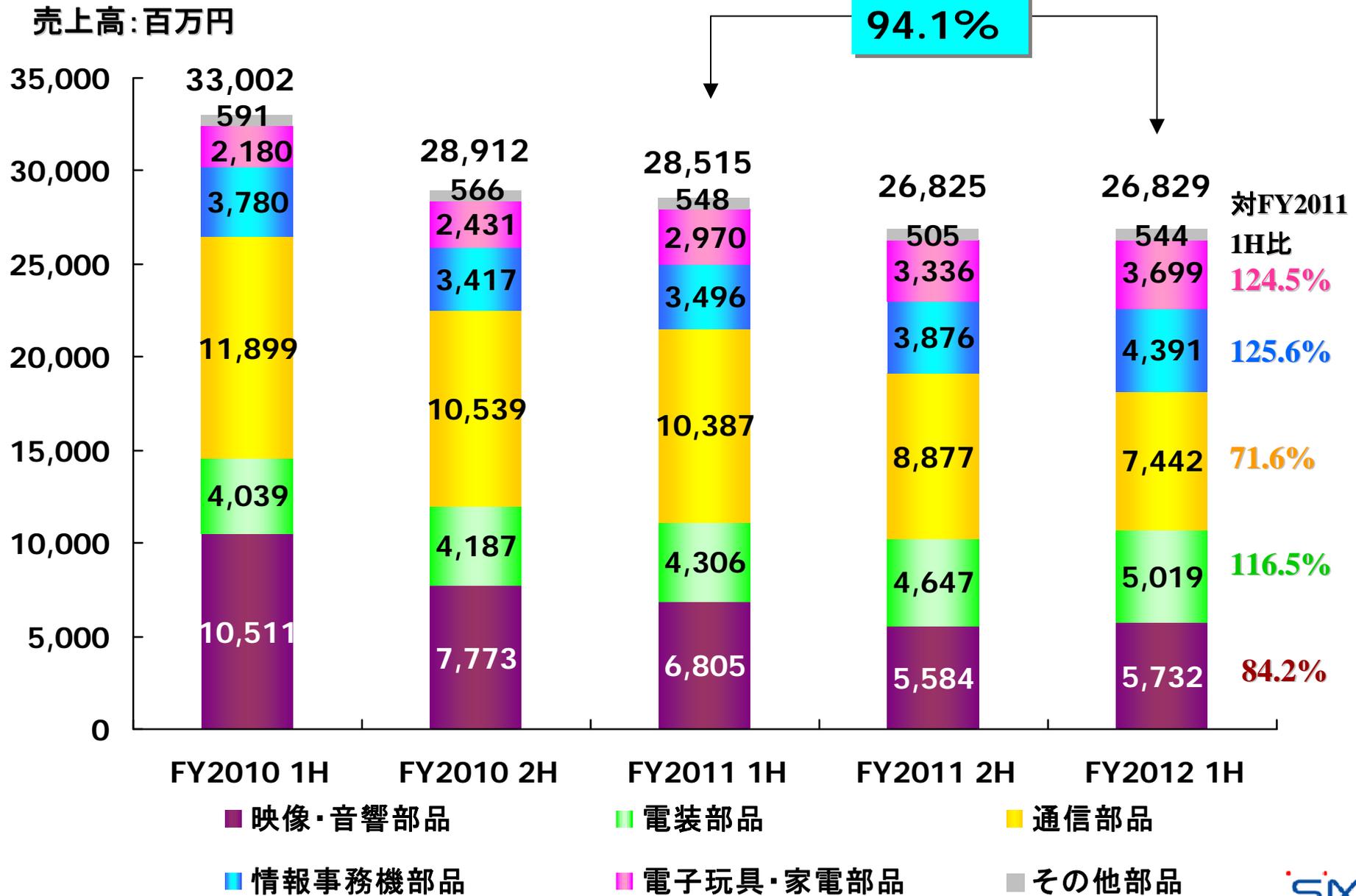
FY2009~2011:通期実績

FY2012:期初計画・修正計画





参考：半期別 市場別売上高(FY2010 ~FY2012)



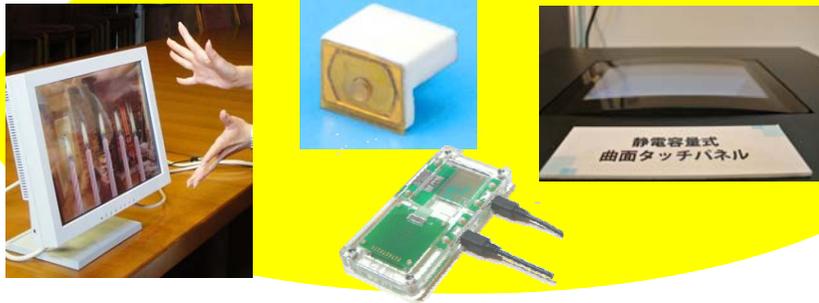


FY2012 1Hの振り返り -1 ミニTEXPO2012

20/25



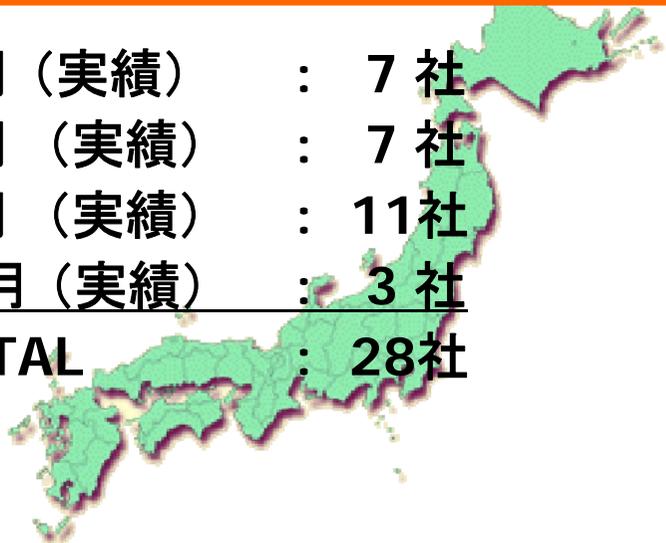
2012年 6月 6日～ 8日(品川で開催)



mini **TEXPO 2012**
SMK
2012年7月～2013年3月

国内: 7月～ 9月

7月 (実績)	: 7社
8月 (実績)	: 7社
9月 (実績)	: 11社
10月 (実績)	: 3社
TOTAL	: 28社



海外: 10月～ 2013年3月

1. US →
2. Europe →
3. China →
4. TAIWAN →
5. Korea →
6. Malaysia →
7. Singapore



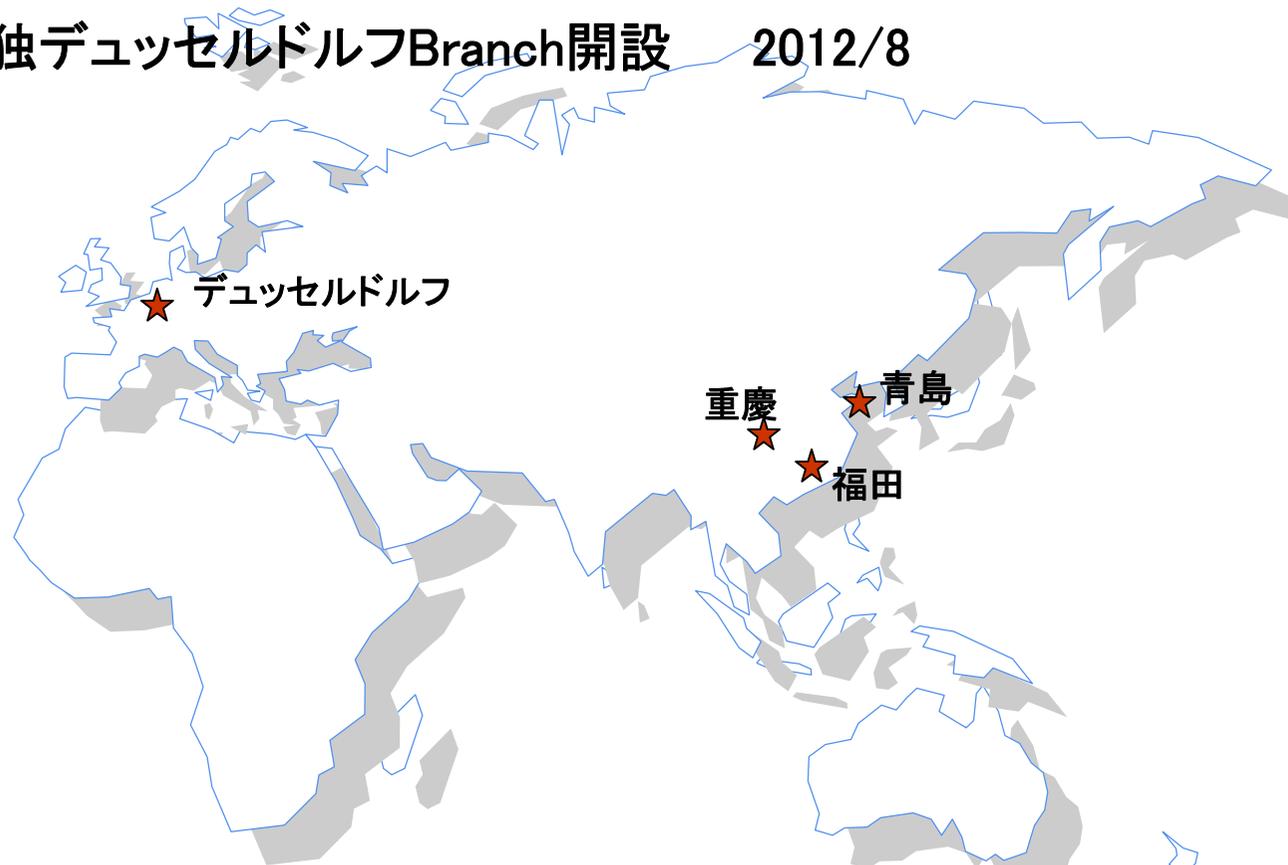


FY2012 1Hの振り返り-2

21/25

●海外販売拠点の拡充

青島Office開設	2012/3
福田Officeの拡大	2012/7
重慶Office開設	2012/8
独デュッセルドルフBranch開設	2012/8





FY2012 2Hの経営環境

22/25

不透明感続く世界景気
(欧州金融不安の継続、中国など新興国経済の減速
超円高の継続)

中国リスク(政治・社会・経済・企業活動への影響)

スマートフォンの好不調得意先の顕在化

日系AVエレクトロニクス業界の不振継続

堅調なカーエレクトロニクス市場

環境・エネルギー・ヘルスケアなど新市場の着実な成長



- コスト削減による営業利益の確保
- 売上拡大への取り組み強化
- 新しいビジネスの具現化
- 中国リスク対応





FY2012 2Hの営業方針(売上拡大)

24/25

1. 既存市場

- 車載市場の強化
- スマートフォンビジネスのさらなる拡大

2. 新規市場

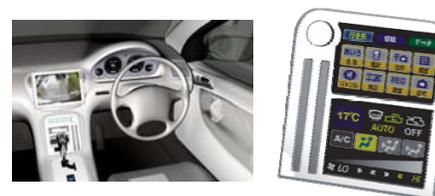
- 新規得意先の開拓(韓国系得意先など)
- 新市場への取り組み強化

ホームエレクトロニクス市場



IP TV/ IP STB
一眼レフカメラ

カーエレクトロニクス市場



Human Machine Interface
車載カメラ
車載通信

IT市場



タブレットPC
スマートフォン
基地局

インダストリー市場



太陽光発電
スマートメーター
HEMS
医療・ヘルスケア



注意事項

25/25

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。